



TITLE:

同好會報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

同好會報. 天界 1922, 2(17): 98-98

ISSUE DATE:

1922-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159675>

RIGHT:

# 同好會報

●二月例会 前々號に豫告のあつた通り去る二月十九日、京都大學天文臺に於て、例會を開き、左の講演があつた。

## 「星雲の話」

古川 龍城氏

大阪からも來會せられた人があつたが、空が曇つて、オリオン星雲も見えず。講演後、質問や雑談に花をさせた。

●三月例会 前號豫告の通り、三月二十一日の祭日に、午後三時から京都大學々生集會所で左の講演があつた。

## 「太陽の運行」

山本 助教

●大阪支部の特別會 大阪支部では去る二月九日夜、北區蛸橋の大江ビルディング内、今般九州に歸られる古賀幹事の送別と山本助教の慰勞とを兼ねた晚餐會を開いた。の席上で古賀恒星圖が初めて披露せられたこと、それから日本語のクネデイ氏が出席せられたことなど、共に紀念すべきであつた。其の後、同館の大廣間で辯護士會と同好會支部

との聯合會が催され、山本助教は

## 「天體よりの無線通信」

といふ題の講演をせられた。主意は光線を「小波長のエーテル波」と見た新天文学の話であつたから、火星からの無線電信の話でも聞くつもりでゐた人々は失望したかもしれない。因に古賀氏は三月上旬に大阪を出發歸郷せられた。

●洛南支部定期講座 第四回は例によつて伏見町吉田方で開催、山本助教の「月の話」があつた。次は四月九日、題は「遊星の話」

●神戸支部例会 二月二十三日、山本助教授西下 同夜神戸女學院大講堂に於て久しぶりの例會を開き、助教の「オリオン星雲」の講演があつた。其の後、晴れた空を幸ひ、御隣りのマヤス博士邸から三時半の望遠鏡を借りて來て、一同星雲や連星や木星土星などを觀望した。黃道光も美しかった。

●山本幹事出張講演 二月十二日夜、京都齒科醫師會に招かれ、京都市丸太橋畔の教育會館で、又、同二十四日午後六時、兵庫

縣尼ヶ崎市教育會の招きに應じ、神戸よりの歸途、それ／＼一場の講話をせられた。

●藤井天文臺 一月下旬以來、山本助教の出張によつて、活動を續けてゐる。二月に入つて、中島、堤兩氏が特志助手となられた。海老、西堀兩氏も時々應援せられるので觀測者は揃つた。最早、何時、火星がやつてもよろしい。

●岡山支部二月通信 (水野)

一、雜誌「天界」研究會 十一日宮原幹事宅で開會

二、第六回例会十九日午後一時から岡山市立商業學校で開催、左の講演があつた。

1、曆と文化生活

縣社會教育主事 武居 芳成

2、星雲に就いて

會員 山本孝二郎

三、水野支部幹事は左記の通り出張講演した

1、十一日吉備郡阿曾村大成協會支部で、

「天文学に就いて」

2、二十七日都窪郡早島町青年會で「壽老人星」

「星座の話」及び實地觀測。